

授業科目 クリティカル・周手術期看護学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
渋谷優子	荒木玲子	開講時期	前期	必修・選択	必修
栗原弥生		単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

- クリティカルケアを必要とする患者の看護は医療技術や在宅看護の充実に伴い、ICU, CCUの集中治療の看護に限定されず、多くの臨床分野の看護師に必要とされるようになってきた、クリティカル患者と看護の特徴を理解し、クリティカルケア看護活動や基本的看護技術とそれらに伴う倫理的課題を理解する。
- 周手術期看護は合併症を予防し術後の回復を促進するための援助が重要であり、系統的な観点から手術患者を援助する能力とリスクを予測に基づいた予防的看護能力を目指す看護法を習得する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

クリティカルケアの看護学

周手術期看護学

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 クリティカルケア看護の考え方を説明できる | 6 周手術期看護の特徴を理解できる |
| 2 クリティカルな患者・家族の特徴を理解できる | 7 周手術期経過と継続看護の必要性を理解できる |
| 3 クリティカルケアの看護活動を理解できる | 8 周手術期における術前・術中・術後の患者・家族の理解と状態観察と回復過程に対応した援助法を理解できる |
| 4 クリティカルケアの基本的看護技術を理解できる | |
| 5 クリティカルケア看護の倫理的課題を理解できる | |

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	クリティカルケア看護の概念 1) クリティカルケアとは 2) クリティカルケア看護 3) クリティカルケア看護の対象	1.2 講義 渋谷
2	クリティカルな患者・家族の特徴	3 講義 渋谷
3	クリティカルケアの看護活動、基本的看護技術、倫理的課題	4.5 講義 栗原
4	周手術期看護の特徴 1) 手術とは 2) 手術を受ける患者の特徴 3) 周手術期看護とは (術前・術中・術後)	6.7 講義 渋谷
5	手術前の看護 1) 手術前の不安に対する援助 2) 術前検査・処置による日常生活への援助 3) 手術にむけての身体状態準備 4) 術前オリエンテーションと患者教育 5) 家族への支援	7.8 講義 渋谷
6	手術中の看護 1) 手術室の看護 2) 手術室環境 3) 麻酔の管理、麻酔時の看護 4) 鏡視下手術 5) 意識下の手術	7.8 講義 荒木
7	手術後の看護 1) 手術侵襲と生体の反応 2) 術後24時間以内の観察と援助 3) 術後24時間以後の観察と看護 手術を受ける患者の看護 (がん患者の例) レポート課題 「クリティカルな患者の床上臥床や同一体位の体位変換の理由とその機序について」	7.8 講義 荒木

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	クリティカルケア看護の基礎 池松裕子(メディカルフレンド社) クリティカルケア看護論 池松裕子 (ヌーヴェルヒロカワ) クリティカル看護Q & A 編著山勢博彰(医学書院) B急性期にある患者の看護Ⅱ 周手術期看護学 監修氏家幸子(広川書店) 周手術期看護論 編集 雄西智恵美他(ヌーヴェルヒロカワ) 周手術期看護 1. 2.3 竹内登美子編著(医歯薬出版)			
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席・レポート・定期試験で評価する	
出席 10% レポート評価 30%	
定期試験 60%	